

国民の祝日『山の日』(西村)

食事をしたお店で記念にもりました。

今年から8月11日が国民の祝日『山の日』となりました。山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する日ということですが、一足先に標高353.7mの古城山の山頂に築かれた『天空の城 竹田城』に登ってきました。福知山からJRで和田山へ向かい、雲海に浮かぶ石垣の写真でラッピングされた観光列車に乗り換えると、一気に旅気分が高まります。JR竹田駅からは、いくつかの登山ルートがあるのですが、私は山の中腹まで天空バスに乗り継ぎ、徒歩約20分でなんとか山頂に到着しました。城跡は南北400m、東西100mと想像以上の広さで、400年を超えて残る壮大な石垣を見ていると、まさにタモリさんの缶コーヒーCMのようにタイムスリップした気分になりました。夏の入城時間は朝6時から、観光列車は9月30日までは毎日運行されるようです。



山頂にて、この眺望！
行った甲斐がありました。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：業況判断指数】

企業の景況感を表す指数のこと。日銀短観(日本銀行の企業短期経済観測調査)の項目の1つで四半期ごとに発表される。「景況が良い」と感じる企業の割合から、「景況が悪い」と感じる企業の割合を引いて算出する。数値は50が横ばい、これを上回ると「景況が良い」、下回ると「景況が悪い」と感じる企業が多いことを示す。製造業・非製造業、大企業・中小企業などに分けて算出するが、中でも大企業・製造業の指数の注目度が高い。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【ダブルワークで夢の実現：本居宣長】

『古事記伝』を著した国学者の本居宣長(もとおりのりなが)は、1730年、松坂(三重県松阪市)の木綿問屋に生まれました。父の死後、家業



は落ち目となり宣長自身も商売への興味が薄かったため、母の勧めで医学の道に進みます。憧れの京都に医学修業に出た宣長は、この地で『日本書紀』や『古事記』などの古典、国学者・契沖(けいちゅう)の著書に出会い古典研究に目覚めたのでした。日本人のアイデンティティーを追求すべく国学の道を志しながら、医学の修業も手を抜かず、27歳には松坂で医者として開業します。医業で生計を立てつつ、仕事の合間を縫って国学の研究を続けました。そんな宣長の国学者としての運命を決定づけたのが、たった一度だけ対面した国学者・賀茂真淵(かものまぶち)との「松坂の一夜」と伝えられる出会いです。真淵の学説に魅せられていた宣長は、真淵に師事。書簡で教えを仰ぎながら34歳で『古事記』の研究に本格的に着手し、『古事記伝』の執筆に取り掛かります。現在でも日本文化研究の貴重な資料とされる『古事記伝』は全44巻の大作。書き終えたのは宣長が68歳の時でした。地道に執筆を続けながら、同時に『古事記伝』の出版や後進の指導にも力を注ぎました。宣長の死後21年をかけて刊行は完了。全国に数百人いたとされる門人を通信教育で指導しながらの大偉業でした。

今を生きる 先人の言葉

お前の道を進め、
人には勝ちなことを
言わせてあげ

イタリア文学最大の詩人であるダンテの言葉。「世間や他人からどう見られているか」ではなく「どんな自分になりたいのか」という生き方をしてみたいものだ。

トレンドを斬る!

「作りおきおかず」が女性の間でブームとなっています。キンピラや煮豆などの常備菜は従来からありますが、ブームに火を

つけたのは写真共有サイトのInstagramです。ニンジンサラダやカボチャのマリネ、ミニトマトのピクルスなどカラフルな総菜は見た目に美しく、真っ白な器や中が見える瓶などの保存容器に入れて並べた写真は圧巻です。野菜中心のレシピはダイエットにも最適で時間の有効活用にもなり、見た目以上の満足度で海外からも注目を浴びています。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【週休3日の経営者】

ソフトウェア販売会社アシストの創設者であるビル・トッテン氏は週休3日だそうです。

本社は東京ですが、土日月の3日間は京都で暮らして本格的に農業をされているとか。経営者だから自由に



しているのではありません。トッテン氏いわく「低成長が続く日本経済は縮小していくだろうから、雇用を維持しながら会社を存続させるには、賃金カットやワークシェアリングを進めたりして社員に負担を強いることになる。そうなったら休日を使った家庭菜園は食費の節約になるはずだ」と。つまりトッテン氏は会社と社員の将来を見据え、自分が1つのモデルケースになるうとしているのです。

同社は数年前から「週休3日」や「週1回在宅勤務」を導入したものの、なかなか社員に浸透しませんでした。そこでまずは自分が家庭菜園を始め、自給自足に近い生活にチャレンジして、それを見た社員がどう行動するかを待ったそうです。日本経済が今の6割になっても800人以上の社員をリストラしないと宣言しているこの会社は、経営者が自ら縮小時代への備えを率先して行動で示しているでしょう。

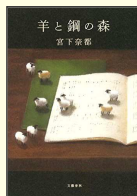
経営者の仕事とは何でしょうか。試しにインターネットで「社長の仕事とは」で検索してみると、「理念を語る」「戦略の立案」「人材育成」などさまざまな意見がありました。どれも確かに社長の仕事です。しかし、大事な仕事が抜けているように思います。それは「経営者にしかできないこと」です。

トッテン氏の行動が社員に大きな影響を及ぼすのはトッテン氏が経営者だからであり、経営者の掲げる企業哲学に社員が共感を覚えるからです。朝一番にトイレ掃除をする。現場に出向いて社員を激励する。情熱をもって仕事に取り組む。どれも経営者が自らやるからこそ社員の心に響きます。逆に「経費削減だ」と言って極端に冷房などを節約し過ぎると、経営者がやるからこそ社員のモチベーションが下がります。「経営者にしかできない仕事」を今一度、自分に問うてみましょう。



トナリの

本棚



【羊と鋼の森】

2016年本屋大賞の1位に輝いた作品です。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が日々、マジメに努力をして少しずつ成長する姿を温かくつつった小説です。才能とか能力とかの物差しでは測れない、やさしい気持ちになれる一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎